

# クラスより



## 今月の目標

- ・着替えや沐浴で体を清潔に保ち快適に生活する。
- ・晴れた日には外気浴や遊びを楽しむ。

5月に新しく入った子が活発に探索活動をしていた姿に圧倒されていた在園児。次第に慣れてくると圧倒されていた在園児も後を追って一緒に探索活動を活発にするようになりました。見たい・知りたいなどといった好奇心が刺激され一人ひとり一生懸命体を動かしてみようとするようにもなりました。子ども同士がお互いに刺激をしあっているなど感じています。

### <繰り返しが大切>

食事の前にアルコールで手を消毒しています。「おててゴシゴシしてね。」と保育士が子どもの手を取り擦り合わせていました。食事の度にしていて分かってきたようで月齢の大きい子は手にアルコールをかけると自分から手を擦り合わせるようになりました。繰り返しのことで覚えていく力はすごいなと思いました。

### <ミニうんどう会のプログラム>

プログラム作りで初めて手形押しをしました。手に絵の具をつけるとみんな「何だろう?」といった様子で絵の具のついた手を握ったり開いたりしていました。少しづついろいろな体験をしていく中でいろんな事を感じていってくれればと思っています。とにかく実体験だと思います。

### <沐浴について>

いよいよ入梅する6月になりました。梅雨になるとじめっとして過ごしにくくなったり、あせもなども出来易くなります。ひよこぐみでは沐浴をし、快適に梅雨を乗り切ろうと思っています。お着替え袋に体を拭くタオルを一本入れておいて下さい。(タオルには名前をお忘れなく。)体調を考慮した上で沐浴をしますのでもよろしくお願いいたします。





簡単な言葉の繰り返しや模倣して遊ぶ事を楽しむ。  
グループに分かれて発達に応じた遊びをする。

(エプロンシアター楽しいね)

最近「3びきのやぎのからがらどん」というお話を、保育士がエプロンシアターを使って演じています。エプロンシアターとは、エプロンが背景になっていて色んな仕掛けがしてあり、人形をマジックテープでくっつけていきます。絵本よりも楽しく分かりやすく見れるので、子ども達は集中して見えています。先日、このエプロンシアターを円満寺(いつもお散歩に行くところ)に持って行き、戸外で演じてみました。いつもと違った環境の中で見るのも新鮮で子ども達は大喜び!! 又やぎの人形を渡してあげると、「先生見て」と自分の服にくっつけて保育士の真似をする子や、「かたかた」と言いながら、お寺の柱にやぎを登らせている姿もありました。柱を橋に見立てる発想が出来た事にすごく驚きました。演じているのを見るだけでなく、自分が人形を持ってみる事で、こんなに小さくても子どもなりに印象に残っている事や、発見した事を色んな形で表現できるのでね。これをきっかけに、どんどん遊びを広げていきたいと思います。

(ヨチヨチ歩き)

3月生まれのお友達2人が、最近歩けるようになりました。歩きたての頃、保育士の所までヨチヨチと一生懸命歩いてくる姿に、「すごーい!」と拍手をすると、周りにいたお友達も手を叩いて一緒に喜んでくれました。子ども達なりにお友達を応援したり、喜びを共感してあげる思いがあるのですね。保育士(大人)に誉めてもらう事は、子どもの成長を促し、又心の栄養ともなるので大切にしていきたいと思います。





**大人に手伝ってもらいながら、身の回りの簡単なことを自分でやってみようとする。  
保育士や友達と関わりながら、好きな遊びを十分楽しむ。**

- \* 5月に2名、6月に1名の新入園児が加わり、計16名のクラスになりました。始めの頃は、進級児も新入園児もどこかお互いに遠慮している様子だったのですが、いつの間にか自然と関わりが増えてきました。大人が思う以上に子どもは新しい環境に適應する力を持っているのだなぁと思います。新しい仲間も増え、クラスの中はとってもにぎやかです。今までは大人との関わりを好んでいた子やひとり遊びが中心だった子も、徐々に友達と過ごす楽しさを感じつつあるようです。気の合う友達の姿を追いかけ遊びに誘ったり、やっていることを真似て満足げにしていたり…。そんな姿を見ていると、単に友達と遊ぼうとしているのではなく、心のつながりを求めているのだという事に気付かされます。相手の思いを感じたり、自分の思いが相手に伝わる喜びをたくさん感じていってほしいと思います。
- \* 午後のおやつ前に手を洗った後、タオルを自分でたたんで鞆に入れるようにしています。初めは「できやーん！」と言っていた子も、今では一生懸命自分でたたもうとするようになってきました。たたむ時に表と裏を間違えていたり、鞆にしまうときにぐちゃぐちゃになってしまう事もありますが、自分でできたという喜びを感じているようです。





## トトロ組

## 今月の目標

自分の思いや欲求を、友だちや保育者に言葉で伝えようとする。  
梅雨期の自然にふれ、興味や関心を持つ

### 3 歳児

製作コーナーでは折り紙を折って遊ぶ姿が多く見られます。大きい子たちが折っているのを見て見よう見真似で折ったり、保育士に折ってもらったり、自分で考えて折り「これはカブト虫」と、みたくて遊びを楽しんでいます。また、ままごとコーナーでは友だちとお母さん役、お父さん役、おねえちゃん役と役割を決めて遊ぶ姿も多く、子ども同士の会話では「ご飯できたわよ」や「学校にいきます」と普段の家族の様子を再現する姿が見られます。女の子の間では保育園ごっこが人気です。年中の子が先生役になり、年少の子が子ども役になり集まりの様子を再現しています。歌を歌ったり、話をする姿がそっくりで驚きました。子ども達の周りには私たち大人も含め生活者モデルがいて、その姿が伝承したりまた憧れにもつながっているようです。



° 休みの日どのように過ごしていたかを発表する生活発表を毎週しています。以前までは大きい子達を中心だったのですが最近では年少さんも参加する姿が見られます。しかし大勢の友だちの前だと大きな声で発表ができなかったり、年少から年長まで発表するので長い時間かかり、待ち切れなくなる姿が見られます。そこで年齢別に発表するように

してみると一人ひとりが集中して話を聞けたり、同年代だけという事もあって積極的に発表をする子が多かったです。皆の話を聞くのも大事ですがまずは少人数の前で発表をし自信をつけたり、話を聞ける場を作っていこうと思います。

### 4 歳児

新しいクラスでスタートしてから約2ヶ月が経ちました。子どもたちは環境の変化にも少しずつ馴染んできたように思います。自分たちで好きな遊びを見つけ楽しむ姿も多く見られるようになってきました。朝はいつも「おはよう」と挨拶をすると、元気いっぱいの子どもたち。大きな声で「おはよう」と返してくれたり、ニコッと笑い返してくれたり、自分から「おはよう」と元気に挨拶しにきてくれたりと私はいつもそんな子どもたちの声や表情で、朝から元気をもらって気持ちよく1日をスタートすることが出来ます。



戸外で遊ぶことが大好きな子どもたちは開放感もあるようで元気いっぱいの姿が見られます。園庭の砂場では長い時間集中して遊ぶ子が多く、お店やさんごっこや工事現場ごっこなど「ごっこ遊び」を楽しむ姿があります。「いらっしゃいませ〜!」や「こっちに砂を運んでください。」などと楽しそうな会話もきこえてきます。また、虫が好きな子も多く園庭や散歩先でいろんな虫を見つけ喜んでいきます。園庭でダンゴムシを見つけた子は大きな石を並べ、ダンゴムシさんのおうちを作ったあげのかわいい姿もありました。

なかなか保育士の前では自分をだせずにいた子も、自分から保育士に思いを伝えようとしたり、少しずつではありますが保育士にも自分の姿をみせようとする姿があり、私も嬉しい気持ちになりました。いろいろな子どもたちの姿がありますが、私自身、子どもたちのありのままの姿を受けとめ楽しく関わっていきたいと思います。



**友達と関わりながら遊んだり生活したいする中できまりや順番があることを知る。  
身近な自然物を見たい触れたいすることで興味、関心を高める。**

### 3 歳児

子どもたちは少しずつ園生活の流れが分かり、新しい環境にも馴染んで子どもたちは笑顔いっぱい、笑い声いっぱいの中、生活できるようになって来ました。また、遊びや生活の中で気の合う友達、好きな遊びを見つけながら楽しそうに遊んでいる姿が多く見られるようになりました。

集まりの時に、食事のときに使う「フォークやお箸」の正しい持ち方を伝えると給食の時間に自分のお箸の持ち方に気を配りながら、「お箸、みて～」と正しい持ち方をしようと頑張っています。時には、年長や年中の子どもたちから「お箸、こう持つんやよ～」と教えてもらいながら「こう？」と真似し、自分も年長や年中のお兄さん、お姉さんみたいに正しいお箸の持ち方で食べてみよう、食べてみたいという姿が見られるようになってきました。また、子どもたちはミニ運動会の練習も楽しみながら取り組んでおり、ミニ運動会の日をとっても楽しみにしています。

散歩先では、ダンゴムシや季節の草花を夢中で探していました。見つけた時は、「あったよ～」ととっても嬉しそうな表情で教えてくれたり、子どもたち同士「こっち、こっち」と教え合って、見つけた時の喜びや感動を共有していました。また、子ども達は見つけた虫などを触ってみたい、名前を図鑑で調べたりととても楽しそうに過ごしています。これからも子どもたちの気持ちを大切に、たくさん自然に触れながら成長していけるような機会をたくさん作っていきたいと思います。



### 4 歳児



5月は暖かな日が続き、天気がいいと園庭やお散歩にでかけ、体いっぱい遊んでいます。遊具や砂場で遊ぶことも多いのですが、5月に入りダンゴムシを見つたり草花を摘んで楽しむことが多くなってきました。身近にある自然に触れ、興味を持つことで、「もっと探してみよう！」「もっと集めてみよう！！」という子どもなりの意欲もうまれるのだと思います。そういった気持ちから「楽しい」「嬉しい」といった気持ちになり生き生きとした子どもの表情も見られます。5月はそんな子どもたちの表情がたくさん見られました。以前に散歩に行った時に、図鑑を持って行ってわからない名

前の虫や草花の名前がすぐに調べられるようにしました。すると、保育士のもとにやってきて「この花なんていうの？」と尋ねた子に図鑑を差し出すと、「黄色の花やからここにありそうやな！」「あ、これと似とるな」とじっくり図鑑とにらめっこして、なんとか探そうと一生懸命になっていました。今はテレビやゲームなどですぐに情報が手に入ってしまう。便利になってしまうと私たち大人もついつい楽をしてしまいがちです。しかし、このように時間はかかっても自分の力で‘調べてみよう’とすることが大切なことだと思います。これからも、こういった時間を子どもたちと一緒に過ごせたいと思います。

## ライオン組

### 今月の目標



**気の合う友達と思いや考えを出し合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。  
砂、泥、水に触れて思う存分楽しみ、解放感を味わう。**

春の遠足で、自分のお父さん・お母さんの紹介をみんなの前でしたことから、人前で自分の考えや思いを伝える積極的な姿が5月に入り多く見られるようになりました。

6月にある牧田保育所との交流のグループ分けでは、「みんなが納得のいくように4つの色に分けられるようにはどうしたらいいか考えてきてね」と前日に話をすると、次の日には「好きな色のところに名前を書いていく」「くじ引きにして決める」「人数が多くなったグループが出来たらくじにする」など、子どもたちが自分たちで手を挙げて発表した意見によって決めていく姿が見られました。保育参加でも「どういうことをお家の人としてほしいのか考えてきてね」と話すと、「考えてきたよ」とたくさんの子が発表してくれました。一人の子の意見によって25人分の思いや意見が出てきます。みんな考え方や思うことは違ったり、ぶつかってもいいから思っていることを発表できる機会を多く取り入れていきたいと思います。保育参加の内容も自分たちで決めた内容なので、子どもたち自身の気持ちも盛り上がり、楽しみに当日を迎える姿が見られました。

年中の時から取り組んでいたドッチボールも、保育士が入らなくても自分たちでチームを分け、コートをかいたりして進められるようになりました。その楽しそうな姿を見て、年中・年少児も参加したりと楽しんでいます。遊びの中でも自分たちで考え、解決したりする姿が見られ、日々成長を感じています。

